

神戸親和女子大学第三回作文コンクール

審査員特別賞

計算は仲良し

岡山県浅口市立金光小学校 四年 西山 心和

私は、算数があまりとく意ではありません。でも、計算は好きになりました。

好きになった理由は、計算問題をとくことは、兄弟やいところが、きょう力したり仲良くしたりしているみたいだと思ったからです。

一年生の時にたし算とひき算を習い、二年生の時に九九を覚えました。三年生になって、かけ算の筆算を習い、四年生になった今、わり算の筆算を習いました。

私は、わり算の筆算をしている時にふと気がつきました。わり算をしようと思った時、頭の中で九九を言っていたり、九九の後はひき算をしたりします。わり算は、実はかけ算とひき算でできるんだと思うと、ちよつとした発見をしたみたいでうれしくなりました。

そして、けん算のやり方を習った時のことを思い出しました。たし算のけん算は、答えからたす数をひきます。ひき算のけん算は答えとひく数を足します。けん算をして、足される数や引かれる数と同じになると、その計算が合っているとということになります。けん算で、自分の答えが合っていると分かると、私は心の中で「よっしゃ!!」と思い、自信がもてます。

こう考えていると、最初、私は、たし算、ひき算、かけ算、わり算は四人兄弟  
みたいだなと思いました。でも、よく考えていると、たし算とひき算が兄妹で、  
かけ算とわり算が姉弟でおたがいがいとこのように思えました。私には兄がい  
て、いとこは、姉と弟だから、そう思ったのかもしれませんが。私の兄は中学生で  
いそがしいし、いとこはいつもいっしょにいるわけではないけれど、遊ぶ時は二  
人ずつか、三人か、四人でドッチボールやトランプなどをします。男女二人ずつ  
だし、年れいもちがうし、せいかくもバラバラだけど、四人が集まると何をして  
いても楽しいです。四つの計算のやり方はそれぞれちがうけど、とても仲良しだ  
と思います。

計算まちがいは、兄弟げんかいと思うと、私はドキッとしてしまいました。だ  
から、これからも計算まちがいをしないようにしっかりと練習をしようと思いま  
した。